

THE FLANGE WITH NO NAME



THE FLANGE WITH NO NAME

クラシックなモジュレーション技法を基に開発されたモダンなフランジャー・ペダル

behringer

安全上のご注意 必ずお守りください

■お使いになる人やほかの人への危害、財産への損害を未然に防ぐために、必ずお守りいただくことを説明しています。

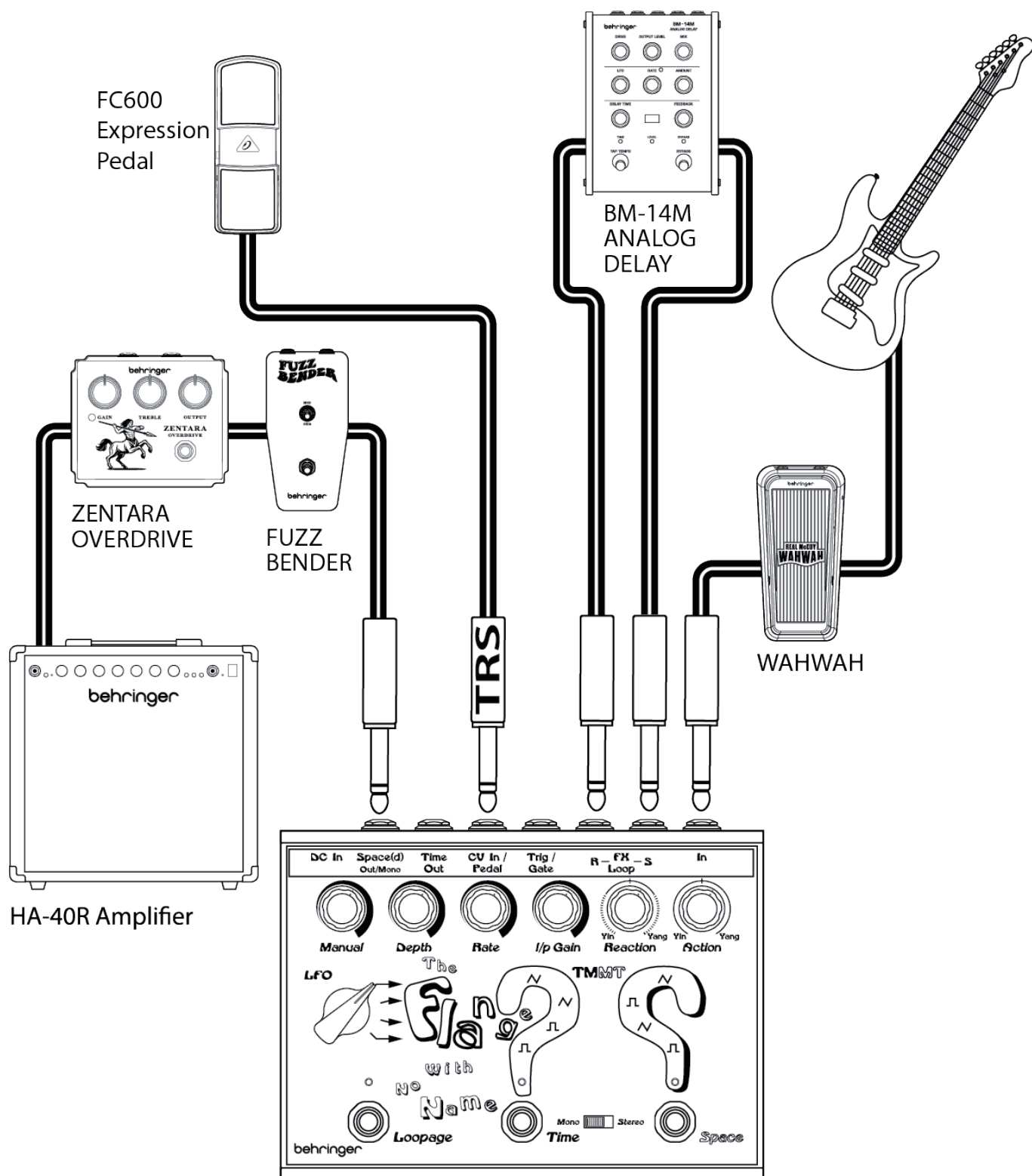
警告

- ・ **異常がある場合はただちに使用を中止する**：焦げくさいにおいがする、煙が出ている、物や液体が入ったなど、感電、火災の原因になります。直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店へサービスをご依頼ください。
- ・ **濡らさない**：感電、火災、故障の原因になります。
- ・ **内部に異物を入れない**：水や金属が内部に入ると、感電、火災、故障の原因になります。
- ・ **分解／改造はしない**：感電、火災、故障の原因になります。

注意

- ・ **高温になる場所や熱のこもりやすい場所で使用、保管、放置しない**：火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などで使用、保管、放置しないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
 - ・ **乳幼児の手の届く所に置かない**：サイズの小さな付属品などは飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。
 - ・ **強い圧力を加えたり折損させたりしない**：ポケットの中やカバンの中など強い圧力がかかる場所に保管しないで下さい。火災、やけど、けが、感電、故障の原因になります。
 - ・ **ぬれた手で使用しない**：感電、火災、故障の原因になります。
 - ・ **対応した電源アダプター以外を使用しない**：指定された容量 (9VDC センターマイナス 400mA 以上) の電源アダプター以外は本製品ではご利用いただけません。故障の原因になりますので、電源アダプターは必ず本書で指定された容量のアダプターのみをご利用ください。
- ※廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

1. フックアップ



2. THE FLANGE WITH NO NAME について

THE FLANGE WITH NO NAME は、フランジャーの創造的な可能性、さらにはその先を探求するために設計された、タイムディレイを基盤としたモジュレーションエフェクトペダルです。

その中核はフランジャーとして機能し、制御されたディレイモジュレーションを用いて、オーディオ信号内にダイナミックなフェイズ相互作用と動きを生み出します。

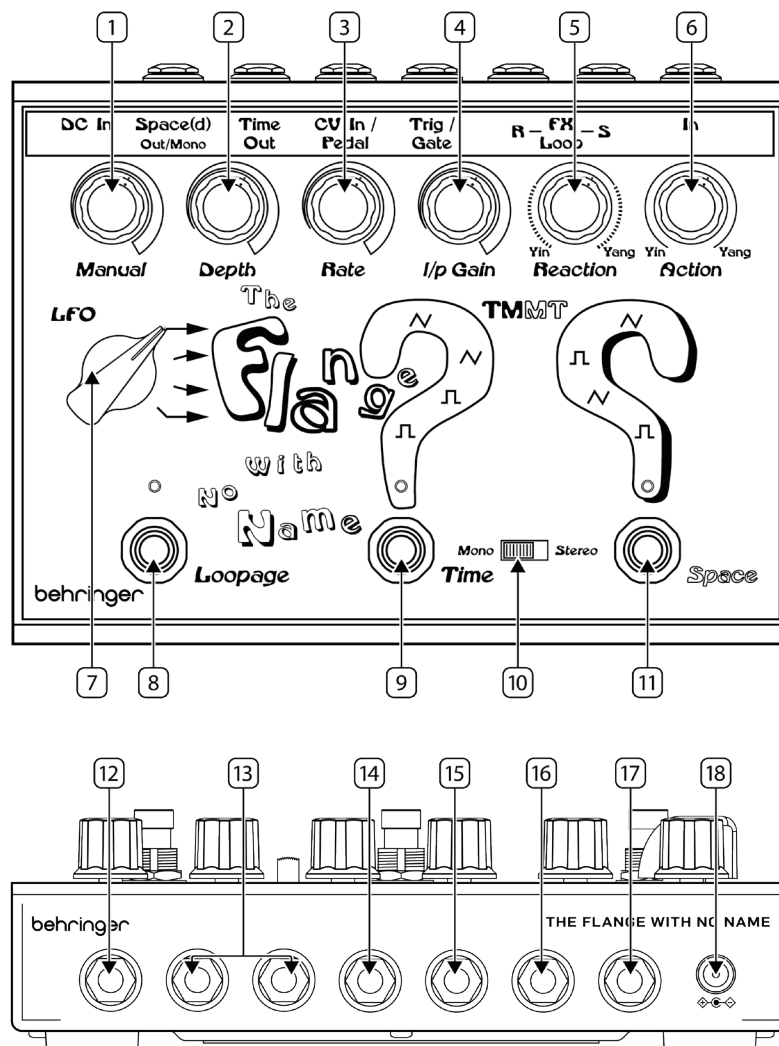
本ユニットの動作は、基本的に2つのオーディオライン、すなわち2つのパスに基づいています。1つはモノラル出力から出力されるソースオーディオ信号で構成されるストレートパス、もう1つはディレイパス（LFO やその他の様々なコントロールによって加工された、ソースオーディオ信号のディレイ版）です。

THE FLANGE WITH NO NAME は、フランジャーの特徴である標準的な「ジェット機」や「シューツ」というようなサウンドを十分に生み出すことができます。しかし、このユニットを単なるフランジャーとして捉えるべきではありませんし、そもそもそう単純化することなど不可能です！ FX ループの統合により、リジェネレーション、2つの信号経路の分離、フェイジング、コーラス、ビブラート、トレモロ、さらには自己発振までもが可能になります。

これらすべてが、親しみやすく楽しいインターフェースから実現されています。

その結果、大胆な探求者から気ままな旅人まで、あらゆるユーザーを時空を超えた未知の領域へと導く、本格的なストンプボックス・エフェクトユニットが誕生したのです！

3. コントロール



トップパネル

① **MANUAL** : ディレイのオフセット値を設定します。② **DEPTH** の設定が 0 の場合、MANUAL ノブはディレイ時間のデフォルトの一定設定を決定します。設定を低く (反時計回り) にするとフェイズエフェクトが発生し、中程度の設定ではフランジャー、さらに高く (時計回り) に設定するとコーラス / ダブリング効果が得られます。MANUAL の設定を高くすると、ヒスノイズが発生し、テープディレイ特有のヒス音を再現することが可能です。このヒスノイズは、リジェネレーションを追加した際に特に顕著になります。

② **DEPTH** : タイムモードが有効な状態で、ディレイの深さ (LFO モジュレーションの強さ) を設定します。ディレイ時間のオフセット値は、① MANUAL ノブ、または CV/ エクスプレッションペダルからの入力信号によって設定されます。DEPTH ノブを時計回りに半分の位置を超えて設定し、矩形波の LFO モジュレーションと組み合わせると、電子ベースドラムのアタックのような低音域のドスンというノイズを生み出すことができます。リジェネレーションを十分に加えることで、ループするリズムカルなパターンを生成するのに利用できます。

③ **RATE** : LFO のレート (速度) を設定します。この設定は「Time」モードと「Space」モードの両方で共有されます。LFO のモジュレーションレートは、反時計回りの低い設定では聴こえない周波数から、時計回りの高い設定 (② DEPTH の設定が高い場合) では聴こえる低域の周波数まで変化します。⑨ TIME フットスイッチの上にある緑色の LED と、⑪ SPACE フットスイッチの上にある赤色の LED が点滅し、RATE の設定を示します。

④ **I/P GAIN(INPUT)** : 最適な S/N 比が得られるよう、信号入力レベルを設定します。経験則として、ギターやベースなどの楽器には中間点が理想的です。シンセサイザーには中間点より低い設定が、マイクには最大に近い設定が理想的です。

注意 : THE FLANGE WITH NO NAME はトゥルーバイパスではありません。つまり、バイパスモード / オフ時であっても、I/P GAIN ノブは信号経路に影響を与え続けます。ノブが 0 / 最小に設定されている場合、IN ポートに接続された信号は出力から聞こえなくなります。ただし、内部の自己発振や FX リターン信号には影響しません。

⑤ **REACTION(YIN/YANG)** : ディレイ信号経路のリジェン (再生フィードバック) の量を設定します。REACTION ノブはセンターゼロ方式のコントロールです。つまり、12 時位置に設定すると効果はなく、リジェンは聞こえません。ノブを反時計回りまたは時計回りに回すと、YIN から YANG へとリジェンの量が増加します。

- **YIN(反時計回り)** – 奇数次高調波を強調します。
- **YANG(時計回り)** – 偶数次高調波を強調します。

REACTION ノブをノブ周囲の破線部分 (時計回りまたは反時計回り) まで回すと、ユニットが自己発振します。

注 : リジェネレーションの発生量は、主に (1) MANUAL ノブに依存しており、設定値が高いほど (ディレイ時間が長いほど)、より大きく、より速やかにリジェネレーションが発生します。

⑥ **ACTION(YIN/YANG)** : ディレイパスのミックスレベルを設定します。⑤ REACTION ノブと同様に、ACTION ノブもセンターゼロ方式のコントロールです。

ただし、ACTION ノブは⑤ REACTION ノブと同じ操作方法ですが、その本質的な意味は異なります。12 時の位置では、⑩ TIME OUT ジャックへの信号は最小またはゼロとなり、ミックスにモジュレーション効果が含まれないことを意味します。このため、⑩ TIME OUT 接続でエフェクト音が聞こえない場合は、まず ACTION ノブを確認してください。ノブを反時計回りから時計回りに回すと、YIN から YANG へと、ディレイ信号のレベルが上昇します。また、ACTION ノブは信号の位相にも影響を与えます。

- **YIN(反時計回り)** – モジュレーション信号は逆位相でミックスされます。
- **YANG(時計回り)** – モジュレーション信号は同位相でミックスされます (ノーマライズ)。

注 : スペーススイッチがオンになっている場合、ACTION ノブによる位相効果は目立ちにくくなります。

⑦ **LFO SWITCH** : 「Time」モードと「Space」モードの両方で使用される LFO 変調の波形を設定します。このスイッチにより、上から順に以下の 4 つの LFO の組み合わせが可能になります。

- **三角波 – 三角波** – 「Time」と「Space」の両方における LFO 変調の波形は三角波です。
- **三角波 – 矩形波** – 「Time」における LFO 変調の波形は三角波、「Space」における波形は矩形波です。
- **矩形波 – 三角波** – 「Time」の LFO 変調波形は矩形波、「Space」の LFO 変調波形は三角波となります。
- **矩形波 – 矩形波** – 「Time」の LFO 変調波形は矩形波、「Space」の LFO 変調波形は矩形波となります。

⑧ **LOOPAGE** : フットスイッチで⑬ FX LOOP(R 入力ジャックに接続されている機器) のオン / オフを切り替えます。有効になると、LOOPAGE スイッチ上部の黄色いランプが点灯します。

⑨ **TIME** : フットスイッチでタイムベースモジュレーションをオン / オフします。モジュレーションエフェクトの具体的な動作は、本体の各種コントロールによって決定されます。バイパス状態になると、TIME フットスイッチ上部の緑色 LED は消灯します。

注 : 本機がバイパスモードの場合、⑯ TIME OUT 接続はドライ入力信号に戻り、ディレイ経路を完全にバイパスします。また、バイパス中はリジェネレーションは機能しません。

⑩ **MONO/STEREO** : このスライドスイッチは、本機がバイパスされている際に、⑯ TIME OUT 接続での出力信号の位相を最適化します。モノラル構成の場合 (⑰ SPACE(D) OUT/MONO のみに接続されている場合)、「同位相」のバイパスサウンドを得るには、通常、このスライドスイッチを MONO の位置に設定する必要があります。ステレオ構成の場合 (TIME OUT と SPACE(D) OUT/MONO の両方のジャックを使用している場合)、「同位相」のバイパスサウンドを得るには、通常、このスライドスイッチを STEREO の位置に設定する必要があります。ただし、この位相の最適化は、THE FLANGE WITH NO NAME と外部機器との位相関係に依存することに注意してください。

⑪ **SPACE** : このフットスイッチは、スペースモードのオン / オフを切り替えます。SPACE スイッチを押すと、トレモロエフェクトが作動します。スペースモードがオンになっている場合、SPACE スイッチ上部の赤い LED は、点灯するか、または点滅します (③ RATE ノブの設定によって異なります)。③ RATE の設定値が高い場合、THE FLANGE WITH NO NAME はリングモジュレーションに似たエフェクトを生み出すことができます。このエフェクトは、SPACE スイッチを単独でオンにした状態や、⑰ SPACE(D) OUT/MONO ポートから信号を送信している際に得られます。より極端なエフェクトを得るには、⑨ TIME スイッチをオンにし、⑤ REACTION ノブを YIN または YANG のいずれかに大幅に設定して、ユニットを自己発振状態にさせます。自己発振の周波数は、① MANUAL ノブで調整可能です。

注 : スペースモードが有効になっている場合、② DEPTH ノブは効果を発揮しません。スペースモードでの変調深度は常に最大値に固定されているためです。

REAR PANEL

⑫ **IN(INPUT)** : 1/4" (6.35 mm) オーディオケーブルを介して変調されるメインのオーディオソース用の入力ジャックです。このジャックを使用して、電子楽器、マイク、ミキサーのセンド、または他のエフェクトの出力を接続することができます。

⑬ **FX LOO(S/R)** : ディレイパス用の FX センド / リターン・ジャックです。回路上では I/P GAIN ノブの後に位置し、モジュレーションディレイの前段にあります。FX センド / リターンは、LOOPAGE フットスイッチがオンになっているときに有効になります。R(リターン) ポートに接続された信号は高域がカットされるため、このジャックはローファイ入力やテープエコーエフェクトのシミュレーションに使用できます。対照的に、S(センド) 出力に接続された信号は高域がブーストされます。R ポートに何も接続されていない場合、S は R ジャックにノーマライズされ、ペダルは基本動作に戻ります。R ポートに何も接続されていない場合、S は R ジャックにノーマライズされ、ペダルは基本動作に戻ります。

中央の⑨ TIME フットスイッチで Time Mode が選択されている場合、S 出力信号には、⑤ REACTION コントロールで設定されたリジェネレーションが含まれます。この回路部分こそが、THE FLANGE WITH NO NAME の真価が発揮される場所ですので、ぜひ自由に創意工夫を凝らしてください！ 良い出発点として、ループ内にデジタルディレイユニットを追加してみてください。

⑭ **TRIG/GATE** : LFO の停止 / 開始機能、または連続同期機能を提供するデュアル機能入力ポート。

- **TRIG** – モノラルケーブルをポートの半分まで差し込んでください。矩形波ゲート信号の立ち下がりエッジにより、LFO が同期します。
- **GATE** – モノラルケーブルをポートに奥まで差し込んでください。TRIG 機能とは逆の動作をし、正の DC 電圧 (最低 0.7 V) が印加されている間、LFO はその位置で固定されます。電圧がないか、または負の電圧が印加されている場合、LFO は① RATE ノブの設定に従って通常通り動作します。

LFO をトラックのテンポに同期させるには、まず① RATE ノブをトラックの BPM にできるだけ近づけて設定します。設定が完了したら、小節の整数倍に相当する間隔で、複数の短いゲート信号を印加してください。LFO は、ホストのテンポと同期するまで、その都度聞こえないほど微かにリセットされます。

⑮ **CV IN/PEDAL** : ボリュームペダル、CV(コントロール電圧) デバイス、またはエクスプレッションペダルを、1/4" (6.35 mm) オーディオケーブル経由で接続し、ディレイタイムを制御するためのステレオ入力ポートです。

注：正の電圧はディレイタイムを短縮し、負の電圧はディレイタイムを延長します。そのため、意図した効果を得るには、ペダルやコントローラーの極性を反転させる必要がある場合があります。

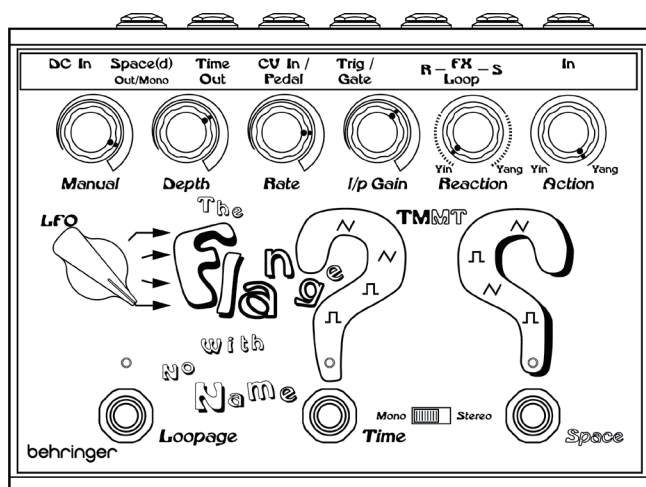
⑯ **TIME OUT** : 1/4" (6.35 mm) TRS オーディオケーブルを介して出力されるメインのフローティングディレイパスです。THE FLANGE WITH NO NAME がバイパスされている場合、TIME OUT 出力の位相は⑩ MONO/STEREO スイッチによって制御されます。

⑰ **SPACE(D) OUT/MONO** : ステレオ信号用のメインペダル出力 (1/4" (6.35 mm) オーディオケーブル経由)。⑯ TIME OUT ジャックに何も接続されていない場合は、合成されたモノラル信号経路が使用されます。詳細については、⑩ MONO/STEREO スイッチの説明を参照してください。

⑱ **DC IN** : 電源アダプター用の入力ポートです。9V DC センターマイナス 400mA 以上の電流を供給可能な電源アダプターを接続してください。

4. 基本のプリセット

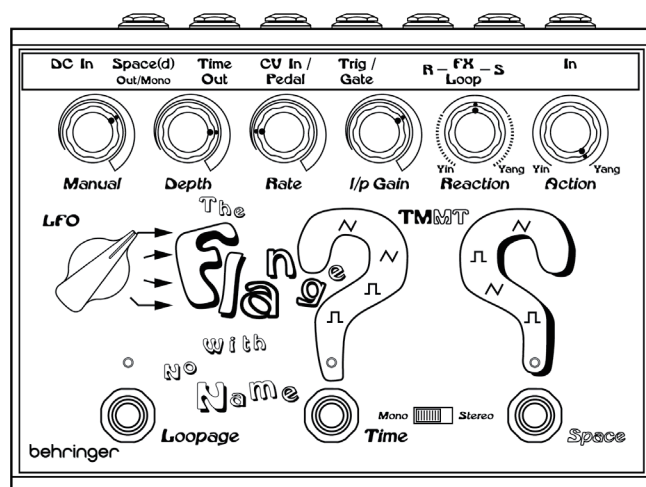
Alien Whale & Monkey



「MANUAL」、「DEPTH」、「RATE」の各ノブを同時に回すことで、奇妙な動物の鳴き声を再現することができます。

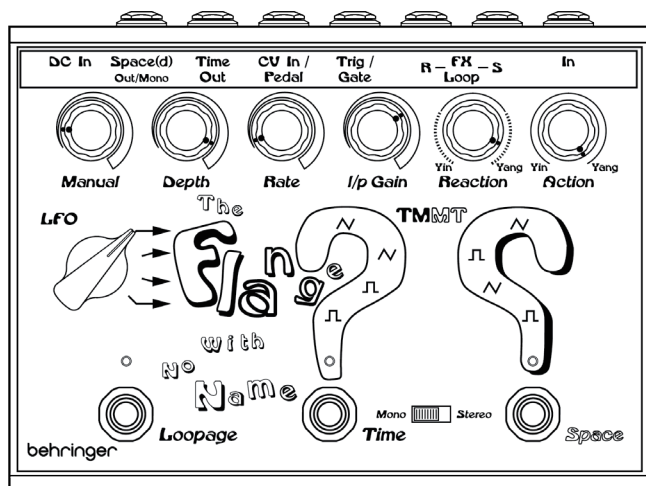
- | | |
|------------------|------------------------|
| MANUAL - 4 時付近 | LFO - 1 番上 (矩形波 - 矩形波) |
| DEPTH - 2 時付近 | LOOPAGE - OFF |
| RATE - 3 時付近 | TIME - ON |
| I/P GAIN - 1 時付近 | MONO/STEREO - MONO |
| REACTION - 7 時付近 | SPACE - OFF |
| ACTION - 5 時付近 | |

Chorus



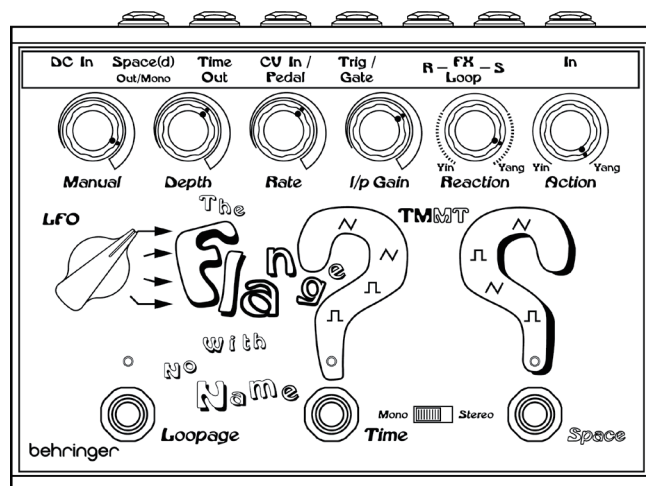
- | | |
|---------------------|------------------------|
| MANUAL - 2 時付近 | LFO - 1 番上 (三角波 - 三角波) |
| DEPTH - 3 時付近 | LOOPAGE - OFF |
| RATE - 9 時付近 | TIME - ON |
| I/P GAIN - 2 時付近 | MONO/STEREO - MONO |
| REACTION - 12 時付近 | SPACE - OFF |
| ACTION - 5 時付近 (最大) | |

Classic Flanger



- | | |
|------------------|------------------------|
| MANUAL - 9 時付近 | LFO - 1 番上 (三角波 - 三角波) |
| DEPTH - 4 時付近 | LOOPAGE - OFF |
| RATE - 8 時付近 | TIME - ON |
| I/P GAIN - 2 時付近 | MONO/STEREO - MONO |
| REACTION - 4 時付近 | SPACE - OFF |
| ACTION - 5 時付近 | |

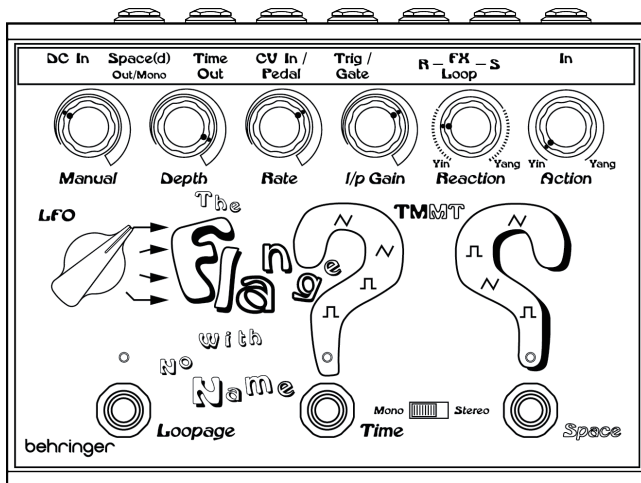
Elephant Spark



このエフェクトは、ファズ・ペダルとディレイを組み合わせ、不協和音を奏でることで最大限に引き出されます。

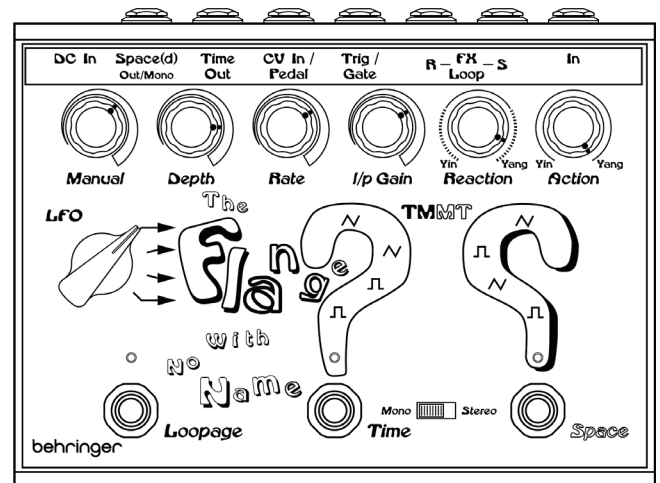
- | | |
|------------------|------------------------|
| MANUAL - 4 時付近 | LFO - 1 番上 (三角波 - 三角波) |
| DEPTH - 1 時付近 | LOOPAGE - OFF |
| RATE - 1 時付近 | TIME - ON |
| I/P GAIN - 2 時付近 | MONO/STEREO - MONO |
| REACTION - 4 時付近 | SPACE - OFF |
| ACTION - 5 時付近 | |

FakeLestie



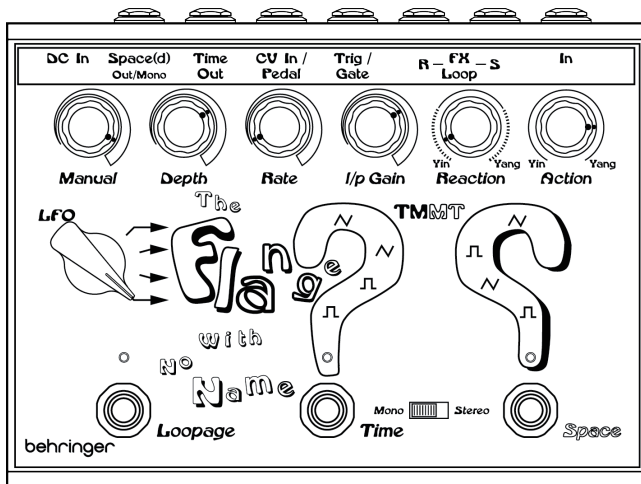
MANUAL - 10 時付近
DEPTH - 4 時付近
RATE - 2 時付近
I/P GAIN - 2 時付近
REACTION - 9 時付近
ACTION - 7 時付近
LFO - 1 番下 (矩形波 - 矩形波)
LOOPAGE - OFF
TIME - ON
MONO/STEREO - MONO
SPACE - OFF

Korny Swirl



MANUAL - 1 時付近
DEPTH - 3 時付近
RATE - 2 時付近
I/P GAIN - 2 時付近
REACTION - 4 時付近
ACTION - 5 時付近 (最大)
LFO - 1 番上 (三角波 - 三角波)
LOOPAGE - OFF
TIME - ON
MONO/STEREO - MONO
SPACE - OFF

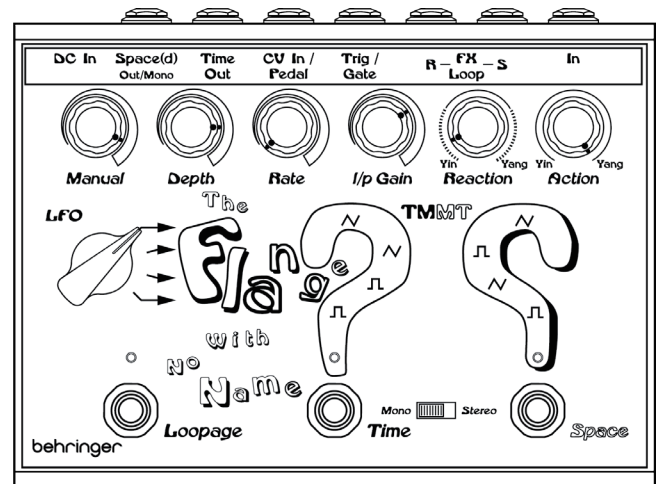
Rhythmic Throb



RATE ノブを使用して、曲のテンポに合うように速度を調整してください。

MANUAL - 4 時付近
DEPTH - 2 時付近
RATE - 8 時付近
I/P GAIN - 2 時付近
REACTION - 8 時付近
ACTION - 3 時付近
LFO - 1 番下 (矩形波 - 矩形波)
LOOPAGE - OFF
TIME - ON
MONO/STEREO - MONO
SPACE - OFF

Spacecraft Landing/Lift-Off



MANUAL - 4 時付近
DEPTH - 3 時付近
RATE - 7 時付近
I/P GAIN - 2 時付近
REACTION - 8 時付近
ACTION - 4 時付近
LFO - 1 番上 (三角波 - 三角波)
LOOPAGE - OFF
TIME - ON
MONO/STEREO - MONO
SPACE - OFF

仕様

オーディオ接続	
オーディオ入力	
コネクター	1 x 1/4" TS, アンバランス
インピーダンス	1 M Ω
FX LOOP(Send/Return)	
コネクター	1 x 1/4" TRS, アンバランス
インピーダンス (SEND)	470 Ω
インピーダンス (RETURN)	42 k Ω
オーディオ出力	
コネクター	1 x 1/4" TS, アンバランス
インピーダンス	1.5 k Ω
コントロール接続	
CV IN/PEDAL	
コネクター	1 x 1/4" TRS
インピーダンス	800 k Ω , アンバランス
CV 入力範囲	0 V ~ +5 V
TRIG/GATE	
コネクター	1 x 1/4" TRS,
インピーダンス	26 k Ω , アンバランス
CV 入力範囲	0 V ~ +5 V
コントロール	
Manual	1 x ロータリーノブ
Depth	1 x ロータリーノブ
Rate	1 x ロータリーノブ
I/P Gain	1 x ロータリーノブ
Reaction	1 x ロータリーノブ
Action	1 x ロータリーノブ
LFO	1 x ロータリースイッチ
Loopage	1 x フットスイッチ
Time	1 x フットスイッチ
Space	1 x フットスイッチ

システム	
周波数特性	20 Hz ~ 20kHz(+0 /-2 dB)
ダイナミックレンジ	>80 dB
S/N 比	>82 dB
全体ゲイン	+12 dBu
電源 / 電圧	
電源	9V DC センターマイナス >400 mA(別売り)
消費電力	0.7 W
サイズ / 重さ	
サイズ (H x W x D)	60.7 x 200.1 x 148.5 mm
重さ	1.10 kg

Behringer 総輸入販売元

株式会社エレクトリ

〒 105-0022

東京都港区海岸 2-7-70

HP:<https://www.electori.co.jp/>

※本ドキュメントの弊社以外のサイトや SNS における 2 次配布は禁止致します。

また、弊社の許可なく本ドキュメント内の表現、データを使用することを禁止致します。

behringer